学校番号	1013

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	世界史Ａ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　改訂版　世界史Ａ（第一学習社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・世界史Ａは、歴史的なまなざし（歴史的事象に対して「なぜ」の視点をもち、考えようとすること）を養うために、とくに世界の近現代のできごとを中心に学習します。
・われわれの生きる現代社会が、過去のいかなる政治・経済・文化・思想などの積み重ねのうえに成り立っているかを考えようとすることも、世界史Ａの学習にとっては必要不可欠です。知識の正確な理解は大前提ですが、国際社会に生きるわれわれのくらしとのつながりを意識することも重要です。

２　学習の到達目標

・諸資史料に親しみ、歴史的考察力を培う。
・現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察することができる。
・世界の歴史を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責務を果たそうとする。	現代世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする世界の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート	定期考査 ワークシート レポート ノート	定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	世界史へのいざない	・自然環境と歴史 ・日本列島のなかの世界の歴史	○	○	○	○	a:自然環境と歴史のつながりを意識し、地理的条件が歴史の形成過程に与えた影響を意欲的に考察し、関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解している。	ワークシート
	ユーラシアの諸文明	・文明のはじまり ・ユーラシアの交流	○	○	○	○	a:ユーラシア各地に形成された諸文明に関心をもち、その特質を意欲的に追究しようとしている。 b:ユーラシア諸文明の特質や、変容などについて、多面的・多角的に考察し、結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:ユーラシアの諸文明と特質を理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	結びつく世界と近世の日本	・14～17 世紀のアジア ・「大航海時代」とアメリカ大陸の変容 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ主権国家体制の成立	○ ○	 ○ ○	○ ○	 ○ ○	a:アジアの諸帝国や、「大航海時代」と世界の一体化、ルネサンスと宗教改革の動き、ヨーロッパ主権国家体制の成立などへの関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:時代や地域の特質を見出し、世界の諸地域が結び付く過程・結果を考察し、適切に表現しようとしている。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:アジアの諸帝国、「大航海時代」、ルネサンスと宗教改革、ヨーロッパ主権国家体制について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成	・産業革命と労働運動・社会主義 ・アメリカ独立革命 ・フランス革命とナポレオン ・ウィーン体制 ・ヨーロッパの国民国家形成 ・アメリカ合衆国の膨張	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○	a:工業化とそれに伴う近代化、その特質について関心をもち、現代世界との結び付きを意識しながら意欲的に追究しようとしている。 b:18 世紀以降の諸地域世界の激変と特質を見出し、多面的・多角的にその結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:18 世紀以降の諸地域世界の変貌についての基本的な事柄を 19 世紀の世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	アジア諸国の変貌と近代の日本	・アジアの植民地化 ・清の動揺 ・日本の近代化 ・アジア諸国の変革	○ ○ 	 ○ ○	○ ○ 	 ○ ○	a:19 世紀以降の帝国主義世界の特質を、その後の大戦と関連付けて、意欲的に追究しようとしている b:19 世紀以降の帝国主義世界と 2 つの世界大戦への影響について考察しその結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:19 世紀以降のアジア世界の変貌を、日本の近代化とあわせて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
3学期	地球社会と日本	・第一次世界大戦とロシア革命 ・戦間期の世界 ・アジアの民族運動とラテンアメリカ ・第二次世界大戦 ・戦後のアジア・アフリカ ・冷戦 ・21 世紀の世界と日本	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:2 つの世界大戦がもたらした影響や戦後社会の課題について関心をもち、現在まで続く課題に対して意欲的に追究しようとしている。 b:戦後の諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて考察し、結果を適切に表現している。 c: 必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:2 つの世界大戦と戦後社会についての基本的な事柄を、世界の政治・経済の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。